

- 問1 ある都市の気候データを分析すると、年平均気温は約14℃と比較的温暖で、年降水量は2500mmを超える多雨な傾向が見られました。特に夏から秋にかけて降水量が多く、冬は降水量が少なく晴天が続く特徴がある場合、この都市が属する気候区分として最も適切なものはどれですか。
(2025年 青森県公立入試 類似)
1. 瀬戸内の気候 2. 太平洋側の気候 3. 日本海側の気候 4. 中央高地の気候
- 問2 北から南へと流れる寒流である「親潮（千島海流）」が、周辺の海域に豊かな漁場を形成する主な理由について述べたものとして、最も適切な説明を選びなさい。
(2019年 静岡県公立入試 類似)
1. 魚類の餌となるプランクトンが豊富に含まれているため 2. 水温が非常に高いため、熱帯性の魚が回遊してくるため 3. 赤道付近から暖かい海水を運び、魚の繁殖を促すため 4. 海流の勢いが弱く、魚が卵を産みやすいため
- 問3 ある地域の沿岸部において、津波浸水想定区域が網掛けで示され、学校や公園に指定避難場所の記号が付された防災資料があります。この資料を読み取り、実際の避難行動に活かす際の説明として最も適切なものはどれですか。
(2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 等高線の密度が高い急斜面であっても、浸水想定区域をわざわざ外れていれば、斜面崩壊の危険性を考慮せずに避難経路に設定する。 2. 避難を円滑にするため、地形に関わらず、海岸付近にある駅から最も距離が近い指定避難場所を常にご利用するよう徹底する。 3. 浸水想定区域の境界付近にある果樹園などの特定の土地利用を目印にして、浸水域の内側であっても頑丈な建物であれば避難先として指定する。 4. 網掛けがされた浸水想定区域の外側に位置し、かつ等高線から標高が高いと判断できる指定避難場所を、第一の避難先として選定しておく。
- 問4 阿蘇山などの活火山周辺にコンクリート製の頑丈な避難施設（噴石シェルター）が設置される理由として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。
(2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 噴火にともなって大規模な津波が急激に発生するため、海拔の高い場所へ退避する必要があるからです。 2. 地震による周辺建物の倒壊を防ぐため、地域の全住民を収容できる大型施設が必要だからです。 3. 火砕流や溶岩流が到達するまでの数日間にわたり、生活を続けるための長期的避難所が必要だからです。 4. 大きな噴石は火山口周辺へ短時間で飛散するため、遠くへ逃げる前に速やかに退避できる場所が必要だからです。
- 問5 山梨盆地に見られるような、山地から抜ける谷の出口を頂点として扇状に広がる地形で、古くからブドウやモモなどの果樹園が多く分布しているのはなぜか。その地形的特徴を説明したものとして適切なものを選びなさい。
(2025年 埼玉県公立入試 類似)
1. 標高が低く海に近い場所であるため、冬でも温暖で霜の被害を受けにくい 2. 火山灰が降り積もってきた平坦な土地であり、水利が悪く米作りが困難だったため 3. 堆積した土砂の粒が大きく、水分が地下に浸透しやすい 4. 川が運んできた細かな泥が厚く堆積し、常に湿潤な状態が保たれるため
- 問6 長崎市の浦上天堂や長崎大学周辺を描いた2万5千分の1の地形図において、標高の低い海岸付近の地点と、等高線が密集する場所に位置する標高の高い地点Dがあります。大規模な地震が発生し津波の危険がある際、避難場所として地点Dが適している地形的な理由として、最も適切なものはどれですか。
(2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 周辺に平和祈念像や平和公園などの著名な施設が存在する地点は、救援活動の際の目印となりやすく、物資の輸送が最も早い 2. 等高線の数値が大きい地点は、海岸からの距離が遠い内陸部であることを常に示しており、津波の到達時間までに十分な余裕があるため 3. 等高線が密集している場所は傾斜が急な高台であることを示しており、津波による浸水被害を避けられる可能性が高いため 4. 等高線の間隔が狭い場所は平坦な土地が広がっていることを示しており、多くの避難者が滞在できるスペースを確保しやすい
- 問7 東京都を流れる神田川付近では、1993年の台風の際には3,000戸以上の浸水被害が発生しましたが、地下調節池が活用されるようになった2004年の同規模の台風では、被害が46戸まで激減しました。この事例から読み取れる地下調節池の効果として正しい記述を選びなさい。
(2016年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 下水処理場と直結させることで、汚れた雨水を海に流さずに地下で全て浄化できるようになった 2. 雨水を地下深くに浸透させることで、都市部のヒートアイランド現象を抑制する効果が生まれた 3. 河川から溢れそうになった水を巨大な地下トンネル等へ貯めることで、周辺地域の安全性が大幅に高まった 4. 地下に水を貯めることで、干ばつが発生した際の農業用水として再利用する体制が整った
- 問8 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つの山脈は、その標高の高さや日本の国土における形態的な特徴から、共通して何と呼ばれていますか。
(2025年 千葉県公立入試 類似)
1. フォッサマグナ 2. 日本の穀倉地帯 3. 日本の屋根 4. リアス海岸
- 問9 東日本の太平洋沖では、南からの暖流である黒潮（日本海流）と、北からの寒流がぶつかり合うことで、魚の餌となるプランクトンが豊富に発生し、世界的な好漁場が形成されています。この二つの海流がぶつかり合う場所の名称と、そこで黒潮と合流する寒流の組み合わせとして適切なものを選びなさい。
(2018年 千葉県公立入試 類似)
1. 大陸棚と、親潮（千島海流） 2. 海溝と、リマン海流 3. 潮目（潮境）と、対馬海流 4. 潮目（潮境）と、親潮（千島海流）
- 問10 石川県の能登半島付近から和歌山県の紀伊半島南部にかけて、地形の断面図を作成したと想定します。この区間の地形の配置と標高の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2020年 兵庫県公立入試 類似)
1. 近畿地方の中央部に広大な盆地が広がっているため、断面図の中央部分は標高がマイナスとなり、周囲を100メートル程度の低い丘陵が囲んでいる。 2. 日本海側から標高が上がり、飛騨山脈などの険しい山岳地帯を越えた後、濃尾平野などの標高の低い地域を経て、再び紀伊山地の険しい山並みが現れる。 3. 能登半島付近が最も標高が高く、南下するにつれて標高が一定の割合で下がり続け、紀伊半島南端で海拔ゼロメートルに達する。 4. 日本海側から太平洋側まで、標高の変化がほとんどないならかな平野部が続いており、大規模な山脈は存在しない。
- 問11 北東から南西にかけて標高が低くなっている等高線の分布が見られる地形図において、図の中央を流れる河川の流向（流れる方向）を判断する基準として最も適切なものはどれですか。
(2026年 沖縄県公立入試 類似)
1. 標高が高い北東から、標高が低い南西に向かって流れる 2. 等高線が密になっている、より傾斜が急な方向へ向かって流れる 3. 等高線と並行になるように、常に同じ標高を維持しながら流れる 4. 標高が低い南西から、標高が高い北東に向かって流れる